

宮城県建設業協会主催で「建設キャリアアップシステム現場運用研修会」が開催！

○ 建設キャリアアップシステムについては、全国各地で現場運用が開始されている中で、約1万1千件（本年12月上旬時点）の現場登録が行われています。

○ そのような中で、12月5日（木）、（一社）宮城県建設業協会主催で「建設キャリアアップシステム現場運用研修会」が開催されました。

この研修会では、建設キャリアアップシステムの制度概要や具体的な取組について、元請事業者の（株）橋本店さんと下請事業者の（株）太洋工業さんよりご紹介があり、先導的な取組を目にする貴重な機会となりました。現場が仙台市立小学校校舎の増築工事でしたので、発注者の仙台市教育局学校施設課の担当官も参加され、また、東北地方整備局建政部幹部の方々も参加され、地元建設業界のみならず発注者・行政とが連携して、技能者の処遇改善等に取り組んでおられる姿が見て取れました。

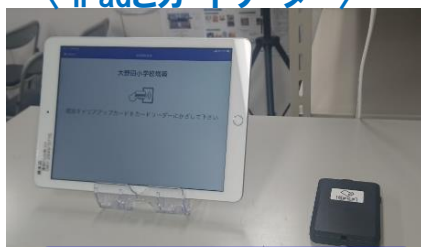
○ 現場事務所の入口には、就業履歴登録アプリ「建レコ」をインストールしたiPadと無線で接続させるカードリーダーが設置され、技能者の方が現場入場する際、カードタッチをされているとのことです。

＜iPadとカードリーダー＞

＜登録済現場ステッカーの掲示＞

担い手の確保・育成は喫緊の課題。今こそ、技能者の処遇改善に繋がる建設キャリアアップシステムの普及促進に取り組むべきです！

（宮城県建設業協会 千葉会長）



毎日、カードをタッチして、就業履歴の蓄積をしています！（職長の方）

令和2年3月までに、協力会社の事業者登録100%、技能者登録80%以上、現場登録80%以上を目指しています。当社はそのバックアップを惜しみません！現在、登録基幹技能者の中の優秀者を「橋本マイスター」に認定し、日額2,000円を支給しています。今後、ゴールドカードの技能者に対して支給していくことも考えています。給与改善に取り組むことで、技能者のモチベーションが上がって生産性の向上にも繋がり、元請にもメリットがあると考えています！

（株）橋本店 佐々木社長

現場の入退場管理や建退共の申請手続きが効率的になり、技能者の能力の把握がしやすくなると期待しています！

（株）太洋工業 木村社長

